

アオタマムシ

Eurythyrea tenuistriata

兵庫県：要注目

環境省：－

種の概要

体長16～28mm程度。体背面は金属光沢を持つ緑色で、上翅側縁は金色ないし金赤色。体腹面は金緑色または青緑色。山地の樹林に生息し、モミなどの針葉樹の立ち枯れ木に集まる。成虫は7月～9月頃に見られる。



写真提供：北山健司

国内分布

本州、四国、九州

県内分布記録

姫路市、宍粟市、佐用町

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
	○		○		○

特記事項

中間温帯の自然林に生育するモミに依存している種で、植林等による生息地の消失や孤立化により、現在でも安定して生息しているところは少ないと考えられる。モミの立ち枯れに幼虫が穿孔し、成虫はイヌブナの葉を後食する。

保護上の留意点

中間温帯の自然林の保全